

くずまき型DMO若者・高校生検討部会

地域を盛り上げる企画検討進む

くずまき型DMO若者・高校生検討部会では、「若者が住みたくなるまち」をテーマに5つの班に分かれて地域を盛り上げるイベントや情報発信などの企画を検討しています。

6月5日に総合センターで開催された部会では、高校生を中心とした部会員にサポートメンバーである岩手大学生を含めた31人が集まり、班に分かれて企画会議を行いました。

町の特産品である牛乳の魅力伝えるイベントを企画する田野宇浩さん(2年)は「たくさんの人に楽しんでもらえるユーモアある企画にしたい。班の仲間を増やして、役場や企業など協力してもらいたいところをお願いに行けるよう計画を練りたい」と企画の実現に意欲を見せていました。



出し合ったアイデアを模造紙にまとめる高校生

お知らせ

令和4年度山村留学生を募集します

町では、令和4年度の「くずまき山村留学」と「地域みらい留学365(高校2年生の1年間だけ留学)」の留学生を募集します。募集要項など詳しくは決まり次第ホームページに掲載します。

☎こども教育課 ☎66-2111内線272

葛巻高校に関する新コーナーについて

葛巻高校生を応援し、高校の振興とさらなる発展を図るため、新コーナーを設けました。葛巻高校の魅力を紹介していきますのでご注目ください。

☎いらっしやい葛巻推進課66-2111内線235

地域みらい留学365

葛巻に学ぶ地方の暮らしと環境施策

高校2年生の1年間を葛巻高校に通う「地域みらい留学生」の宮田璃杏さんと岡本茜さんは、地域住民と交流しながら町の特色ある取り組みや地方ならではの暮らしを学んでいます。

5月8日は柳岡徳雄さん(四日市)の畑で野菜栽培の体験を行いました。2人は小中学校の授業で野菜を育てた経験はあるものの、本格的な畑仕事は初体験で、柳岡さんの指導で土を耕したり農業用マルチを畝にかけるなどの作業を行いました。無事にジャガイモの植え付けとトウモロコシの種をまき終えると、畑仕事の苦労と楽しさを実感した様子でした。

また、15日は畜ふんバイオマス発電施設や上外川高原の風力発電所を訪れ、町の担当職員から新エネルギーの取り組みについて学びました。2人は熱心にメモを取り、「発電した電気を町内で利用するためにはどうしたらいいか」など積極的に質問を投げかけ、地球環境に貢献する町の取り組みについて学びを深めていました。

2人は、今後も葛巻町でしかできない経験を重ね、それぞれの目標につなげていきます。



柳岡さん(中央)に教わりながらトウモロコシの種をまく宮田さん(左)と岡本さん(右)



町職員から風力発電施設の説明を受ける2人



力を合わせて綱を引く3年A組の生徒たちと、応援する3年B組の生徒たち

6月17日と18日の2日間、葛巻高校体育館や総合運動公園などを会場にクラスマッチが開催され、クラスごとにオリジナルのTシャツを着た生徒たちが、長縄跳びや綱引き、球技などで競いました。

クラスマッチの運営は生徒会が主体となっており、生徒会長(服部河来さん)は、「今年は1年生が3クラスなので、時間配分や競技の組み合わせが大変でしたが、最後まで3年生の思いに残るよう考えて準備しました。クラスの勝利を狙い、みんな団結したと思います」と語りました。

生徒たちは、他のクラスを応援したり学年を問わず声を掛け合う様子が見られ、会場はわきあいあいとした雰囲気になり、それぞれに高校生活のかけがえのない思い出を心に刻んだようでした。



①チャンスリレーでカードを引く生徒②息を合わせて跳ぶ長縄跳び③3人で棒を持ちコーンを周りながら走る「台風目」④円陣を組み団結するクラス

葛巻高校クラスマッチ
友情深め思い出刻む2日間